

世界経済危機におけるプライバシーおよびセキュリティへの影響、情報漏洩、新たなグローバル・データ流通問題等の解決策の議論のために世界の専門家が集い、第1回プライバシー・セキュリティ国際会議（IPSC2008）が11月11日-12日、東京で開催。

11月4日、東京-第1回プライバシー・セキュリティ国際会議（IPSC2008）がベルサール九段にて11月11-12日に開催される（<http://ipsc2008.org>）。今回、日本で最初となる本会議には日本、EU、米国の世界的に著名なプライバシーおよびセキュリティの専門家が一堂に会し、国際的な視野から多岐にわたる問題について議論を行う。経済危機がデータセキュリティやプライバシーにどのように影響を及ぼすかなども含め、今日直面している問題や将来の課題の解決策および最善の政策、実践などについて意見交換を行う。

次期電子情報通信学会会長の青山友紀慶応大学教授は、「ユビキタス時代には、身の回りのあらゆる物にセンサーや無線タグが装着され、ネットワークに接続されるので、安心・安全な生活に役に立つサービスが享受できる一方で、プライバシーや個人情報のセキュリティの問題が重要となる。本会議は、国際的な視点で技術と法制度両面からこの問題を議論する画期的な場を提供し、問題点とそのソリューションを探る重要な会議となるであろう」と語っている。

国際的な枠組みで今日および今後のプライバシーやセキュリティの問題をとらえ分析する能力は、とりわけ、今日の経済危機による変化や影響によりますます重要となっており、この予期せぬ事態により世界中でデータの適正な取扱いと保護について取り組みを行う必要がある。他の重要な会議議題としては、情報漏洩、その他のグローバル・プライバシー問題、日欧米のプライバシー保護及び情報セキュリティに関する制度や取り組みの比較、EUおよび米国の最新事情、日本における先進課題及び実践などがある。

講演者は以下の通り：

- マイクロソフト 最高プライバシーストラテジスト ピーター・カレン
- スイス、情報法研究所長，セントガレン大学教授、元欧州委員会情報社会総局法務諮問委員会委員長 ハーバート・バーケート
- 明治大学教授 夏井高人
- 米国プライバシー専門家、元米国議会スタッフメンバー ロバート・ゲルマン
- 慶應大学教授 徳田英幸
- カーネギーメロン大学教授 ジャスティン・ジャン
- サンタクララ大学教授 ドローシー・グランシー
- 英知法律事務所弁護士 岡村久道 日本 IBM CPO 個人情報保護有識者会議 理事長 荒木吉雄
- 工学院大学教授 大木栄二郎
- 日本ヒューレットパッカード 個人情報保護対策室室長 佐藤慶浩

全講演者リストおよび発表内容については、会議プログラム参照  
<http://ipsc2008.org/program.html>.

本会議は、ワールドプライバシーフォーラム、電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ技術と社会・倫理(SITE)研究専門委員会、日本セキュリティ・マネジメント学会、情報ネットワーク法学会が共同主催して行われる。

#### 会議詳細:

- 開催日: 2008年11月11日ー12日
- 場所: ベルサール九段 (東京都千代田区九段北1-8-10)
- 日英同時通訳つき
- ネットワーキングレセプション: 11月11日午後5時ー6時30分
- 登録は <http://ipsc2008.org/regi.html> にて受付中

#### 連絡:

日本: IPSC2008事務局 橋本美智子

(e-mail: [info@ipsc2008.org](mailto:info@ipsc2008.org), TEL: 03-5909-0097)

米国/EU: IPSC2008実行委員会共同議長、ワールドプライバシーフォーラム専務理事  
パム・ディクソン

(e-mail: [info2008@worldprivacyforum.org](mailto:info2008@worldprivacyforum.org), TEL: +1 760-436-2489)